

# 春告草

第166号 令和2年1月15日 進路指導部発行

## センター試験直前

センター試験まであと3日である。6年生は今日で平常授業が終了し、センター試験後は私立大、国公立大の個別試験へ向けての特別指導期間となる。長かった受験勉強のゴールが見えてきたが、もうひと頑張りを期待したい。後輩の皆さんは、先輩達が実力を発揮して志望校合格を果たすことを祈ろう。

### センター志願者数は1.9万人減少の55万8千人 現役志願率も0.7ポイント減少の43.3%

2020年度のセンター試験志願者は、今年度より3.3%減少した。このうち高等学校等卒業見込者は45.2万人で、卒業見込数に対する志願者数の割合、すなわち現役志願率は43.3%である。過去最高となった一昨年度と比べて1.3ポイントのダウンで、1.9万人減少した。

19年度入試では関西地区中心に、一般入試前にAO・推薦入試で進路を決定する傾向が見られたが、その傾向は今年も継続しているようだ。特に「大学入学共通テスト」を来年に控えた今度の入試では、安全志向がより強く働き、早期の進路決定に傾いたという動きは否めない。ただし、学力上位層は進路を見据えて、第一志望校に照準を合わせていることだろう。本校6年生も昨年同様、ほぼ全員がセンター試験を受験する。

入試改革を翌年に控えたラストセンターで新傾向の出題はないと思われるが、思考のプロセスや言語活動の充実などを問うといった新テストへの移行を意識した出題の可能性はある。新テスト初年度からの、国語、数学記述テスト導入は見送られたが、平均点5割という設定変更の発表はない。平均点がアップ・ダウンを繰り返す中、ダウンの可能性もある。多少の難化があったとしても、落ち着いて対処してもらいたい。

令和2年度大学入試センター試験志願者数 ( )は前年度

区分	志願者数	比率	対前年度増減
高等学校等卒業見込者	452,234人 (464,950)	81.1% (80.6)	△12,716人 △2.7%
既卒生他	105,464人 (111,880)	18.9% (19.4)	△6,416人 △6.1%
合計	557,698人 (576,830)	100.0%	△19,132人 △3.3%

## センター受験をシミュレート

### 前日 明日の試験に備えて、持ち物の最終チェック 落ち着いて当日を迎えよう

持ち物の準備、確認は必ず前日までに済ませよう。忘れ物がある場合は、気持ちに影響大。天気予報のチェックも忘れずに！悪天候が予想される場合には、それなりの準備も必要。替えの靴下なども用意するなど、当日を想定して準備しよう。出発前にもう一度持ち物を確認して、準備万全で試験会場へ向かおう。

#### ■持ち物チェックリスト ～前日と当日の朝の2回は必ずチェックしよう！～

前日	1日目	2日目	持ち物	前日	1日目	2日目	持ち物
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	受験票 (写真貼付署名を忘れずに)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	携帯電話
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	写真票 (写真貼付署名を忘れずに)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	眼鏡・コンタクトレンズ
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	「受験案内」と「受験上の注意」	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	常備薬
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	筆記用具・プラスチック製の消しゴム・鉛筆削り	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	雨具・防寒具・ひざ掛け
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	生徒手帳	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	時計 (計時機能だけのもの)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	お金・交通費・切符など	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ノート・参考書など
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ハンカチ・ティッシュ・マスク
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	お弁当・飲み物	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	受験票に「上履き持参」と表示してある場合は、「上履き」と「下履きを入れる袋」

## 当日の朝 早めに会場に到着し、場に慣れよう！気持ちを落ち着けて受験室へ

初めてのセンター試験。と言っても、これまでの模試どおり、過去問演習どおりに取り組みれば良い。特別なことは何もない。いつも通りに行動することが大切。程よい緊張感を保ちながら、試験会場に向かいたい。

電車、バスを利用する場合は、起床後、天候と運行状況を要確認。雨や雪で、電車・バスが遅延することもあるから、当日は時間に余裕をもって家を出発しよう。

試験会場となる大学キャンパスは広く、建物も実験室も多い。案内図などを見て、落ち着いて行動しよう。会場には案内係もいるし、案内掲示も多く用意されている。迷いそうなら遠慮なく係の人に尋ねることだ。試験場で遠慮は禁物である。

服装は体温調節がしやすいものが良い。会場によっては寒かったり、暑かったりするようだ。持ち物は椅子の下に置くよう指示される場合が多い。スペースが限られているので、荷物は多すぎないように厳選を。鷹校生と同室になることも多いが、緊張感を欠いてはいけない。周囲の雰囲気に流されないよう心がけよう。

## 試験開始まで 着用だけでも不正行為とされる物もある。注意事項を事前に確認！

机上に貼られた受験番号票を見て着席しよう。椅子や机のガタツキなどが気になる場合も遠慮なく係員に伝えよう。2日間戦う場だ。ストレスなく受験できることが大切である。スマホを含め電子機器類は、試験前に消音設定にして電源を切り、カバンにしまう。アラームの解除も忘れないように。試験時間中に電子機器類を使用すること、身に着けていることは厳禁。試験中に電子音や振動音が鳴った場合、不正行為とみなされることもある。

遅刻は試験開始後20分以内であれば、受験可能であるが、余裕をもって試験が行われる教室には到着して、着席する。英語リスニングは開始時刻の17時10分までに入室していないと受験が認められない。「地理歴史・公民」と「理科②」で2科目受験する場合、第1解答科目の開始時刻から20分遅刻すると、第2解答科目も受験できないので注意しよう。

## 1日目 暗記系、読解系の問題が多い文系科目が初日の関門。リスニングまで集中の持続がカギ！

### 地理歴史・公民

問題冊子は、地理歴史と公民の2冊が配られるが、2冊とも机の上に置かねばならない。志望大の要綱に第1解答科目などの記載がある場合は示された順で解答する。試験終了後の10分間で解答シートが回収され、第2解答科目の解答シートが配られるが、この間、退席や参考書などを読むことはできない。10時40分から第2解答科目の試験がスタートする。

### お昼休憩

食事は普段通り、適度な量をとる。次の国語で眠くならないよう、食後から試験まで時間をあけておきたい。食後は、外気に触れたり、ストレッチをするなどして、思考力・集中力を回復させよう。

### 国語

読解問題に眠気は禁物。昼休憩後、リフレッシュして挑みたい。試験では大問4つを事前に決めた順と時間で解答を進める。

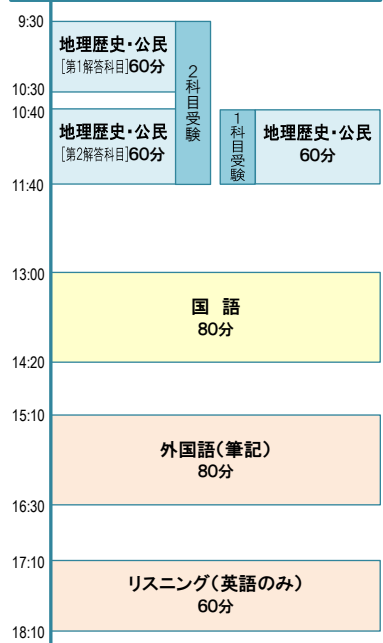
### 外国語

英語リスニングで遅刻は御法度。早めに入室し、試験時間に備えよう。模試で経験済みの人も、リスニング試験の進め方やICプレーヤーの操作方法について、事前にあらためて受験案内をよく確認しておこう。

### 試験終了後

試験の間の休憩時間もそうだが、自己採点はやらない。終わった試験を振り返ったところで、得点は上がらない。翌日の試験に、今日以上のパフォーマンスを発揮することに全神経を傾けよう。そして、早めに就寝することだ。考えていた以上に、今日1日が長く感じられて疲れたはずだ。

### 1日目のスケジュール



## 2日目 頭を数理的思考に転換！出題の意図を読み取って、小問の連続正答を目指そう

理科①を受験しない人は、数学①からの受験となるが、早めに試験会場には到着しておこう。

数学②を受験せず、理科②を1科目だけ受験する人は、12時20分から16時40分までがあき時間となる。試験の間隔があいたとしても、集中を切らさず次に備えることが必要だ。

### 理科①

「基礎」を付した科目（物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎）を60分で2科目を受験する。2科目の解答の順序や時間配分は自由だが、解答科目のマークを忘れずに！

### 数学①、数学②

問題冊子に注意！誤って数学ⅠA受験者が数学Ⅰの問題を、数学ⅡB受験者が数学Ⅱの問題を解き始めないように！

### 理科②

2科目受験の試験の流れは「地理歴史・公民」と同様に、2科目続けての受験になる。解答の順序を間違えると志望校に出願できなくなる場合もあるので、第1志望だけでなく、第2志望以下の大学の要綱もよく調べておこう。

### 試験終了後

2日間お疲れさま。大学受験は自分の意志でチャレンジするもの。今日の結果がどうであれ、自分の進路実現のために、少しでも上を目指して今日まで頑張ってきた。しかし、今日で終わったわけではない。これまでどおり、明日からも頑張っていこう。明日は、データリサーチ。国公立大の個別試験出願に向けて、精度の高い判定が得られるよう、自己採点は正確に行おう。解答をメモした問題冊子を忘れずに登校してください。



## 大学入試ガイド(2)

### Road to University

## 国公立大学に入るには

連載2回目は国公立大学の入試システムについて解説します。

1990年から始まったセンター試験も31年目で終わり、2021年度入試からは新テスト「大学入学共通テスト」が実施されるが、国公立大に入るためには試験を二度受験しなければいけない。すなわち、共通テストと各大学で行う「個別試験」である。センター試験は今週末に行われ、個別試験への出願も今月下旬から始まる。

### 国公立大学入学のルートは3つ

何といっても一般選抜（これまでの一般入試が名称変更される）が基本だが、総合型選抜（旧AO入試）や学校推薦型選抜（旧推薦入試）も難関国立大で行われるようになった。東京大学、京都大学、一橋大学、東京工業大学などでも一般選抜以外の選抜が行われ、東北大学ではAO入試で全入学者の3割を確保したいとの方針を以前より打ち出している。本校からも、東大、京大、お茶大、東北大、筑波大、東京医科歯科大などに、AO入試、推薦入試合格者が出ている。

総合型選抜、学校推薦型選抜は今や「特別な入試」ではなく、入学手段の一方法と認識しなければいけない時代である。これについては、別号で解説したいと思います。

### 一般選考の1stステップ 大学入学共通テスト受験

#### ●日程など

現役生は、出願から受験票交付まですべてを在籍校経由で行う。本試験は1月13日以降最初の土日と規定されていて、今年は3学期始業式の翌週末の実施である。1月末から私大入試が始まるので、年明けは共通テスト対策と国公立大個別試験対策を並行して行わねばならない状況である。来年の実施日は1月16日、17日である。

## ●受験科目など

(現行のセンター試験を基に解説する。新テストに関して大きな変更はないが、詳細が判明次第、解説する。)

共通テストの受験教科と科目数は出願時に登録する。試験当日にこれを変更することはできないので、9月末の出願時には、どの教科をどの科目で受験するのかを決めておかなければいけない。特に理科は科目選択方法が複雑であるので、志望大学の科目指定は要チェックである。

理科は基礎を付した科目(物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎)を①グループ、基礎なし科目(物理、化学、生物、地学)を②グループとし、A～Dの4つの選択肢から1つを選んで出願時に登録する。基礎科目は2科目受験が必須で2科目合わせた解答時間は60分である。この2科目の解答の順序、時間配分は自由である。AからDのどれで受験するかを決めるためには、出願時までに志望校をある程度決定し、理科の科目指定をチェックしておかなければならない。

なお、Cで受験できる大学では、同一名称を含む科目の組み合わせ(「物理基礎」と「物理」など)の可否が定められている場合がある。これまでのセンター試験「理科」の科目指定を見ると、国公立大の文系学部はAまたはB、理系学部はDを利用するところが多い。私立大センター利用入試でも、文系学部はA～Dのいずれでも受験可能などところが多く、理系学部はBが多い。

試験時間は国語と英語が各80分、それ以外の科目は60分である。

## センター試験の日程(令和2年度入試)

令和元年	
9月上旬～	受験案内配付
9月2日～10月10日	検定料など払込み
9月30日～10月10日	出願期間
10月末頃までに到着	確認はがき受領
12月中旬までに到着	受験票などの受領
令和2年	
1月18日(土)19日(日)	本試験実施正解などの公表
1月22日(水)頃予定	平均点などの中間発表
1月24日(金)予定	得点調整実施有無の発表
1月25日(土)26日(日)	追(再)試験実施
2月6日予定	平均点などの最終発表
4月16日以降	成績通知書の受領

## 理科の科目選択

A	理科①から2科目
B	理科②から1科目
C	理科①2科目&理科②1科目
D	理科②から2科目

## 一般選考の2ndステップ 個別試験受験

### ●選抜要項と募集要項は必読

国公立大は、一般選抜、総合型選抜など各選抜の募集人員や入試日程、科目、配点などを「入学者選抜要項」に掲載し、前年の7月末までに発表する。前年度からの変更点なども掲載されているので、各大学のホームページなどをチェックしよう。また「募集要項」は11月末から12月中旬にかけて公開される。これには募集人員、入試日程・科目・配点などはもちろん、受験の際の注意点も詳しく書かれており、出願に必要な書類も含まれている。そのため、志望大学の募集要項は必ず早め入手(※)しよう。

※ 入試出願をインターネット経由で行うWeb出願が私大を中心に増加し、募集要項は各大学のホームページからダウンロードすることになった。従来の紙媒体の募集要項を廃止する大学も多い。国公立大もWeb出願に切り替える大学が増え、東京外国語大学や東京国立大などでも実施している。来年度選抜に関しては従来の「紙の願書」を使う大学もあるが、Web出願への切り替えは数年のうちにさらに進むだろう。各家庭でのPC環境の整備も必要である。

### ●個別試験は前期日程試験と後期日程試験のダブルチャンス

国公立大一般選抜は原則として、個別試験の定員を前期日程と後期日程に分けて募集する「分離分割方式」で実施される。一部公立大は、これとは別に中期日程や別日程で行うので、受験のチャンスは複数回ある。ただし、前期で合格して入学手続きを終えると、後期(中期、別日程も含む)の受験資格を失うと決められている。学校推薦型選抜の新規実施などで後期試験を廃止した大学も多く、このため後期試験の志願倍率は高くなるが、上に述べた理由から後期試験を欠席する受験生も多く、受験倍率は意外と低い場合もある。国公立大入学を目指すのであれば、後期日程受験までを視野に入れた受験計画を立てなければいけない。

### ●個別試験科目の傾向について

個別試験の科目の傾向をざっと見ると、英語は「コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、英語表現Ⅰ・Ⅱ」が中心。「英語会話」を課す大学は少ないが、難関大の外国語学部や国際関連の学部などで課される場合もある。

国語は「国語総合のみ」または「国語総合、現代文B、古典B」を課す大学が多い。地歴は日本史・世界史・地理の各B科目が主体である。理科では、「基礎・発展」1科目が多く、「基礎・発展」2科目は難関大や医学科で多くみられる。数学は、文系では数学Ⅰ・Ⅱ・A・Bが多く、理系ではこれらに加えて数学Ⅲを課すところが多い。